



標津町

# 社協だより

発行/5年9月1日 編集発行/標津町社会福祉協議会

## ●●「助け合い・支え合い」が定着している街をめざして●●

標津町社会福祉協議会 会長 渡辺 好之

町民の皆様には、日頃から高齢者、子供たち、地域にかかわる事業等につきまして、ご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

各事業実施につきましては、社会福祉協議会の活動基本方針を点検、確認しながら活動しております。

特に最重要項目にしております、地域住民を主体に、社会福祉協議会の願いであります、「ひとは、いかなる世(家庭、社会等)でも、一人では生きていけない。そのために「助け合い・支え合い」が必要であり「助ける人・助けられる人」「支える人・支えられる人」で成り立ち「自惚れ・卑屈」もない人間関係であり、「お互いさま」「ありがとう」が原点と考え日々活動しております。

人生100歳時代、最後まで支える側で終わる人もいます。特に「ありがとう」と言わせていただきます。

この基本的な考え方が、地域住民一人ひとりが理解し合い行動した時、住みよい街になると信じ、3つの具体的行動目標を掲げ活動しています。

### ◇第一条には、自助・共助・公助による住みよい街づくりの推進

- ・具体的には、社会福祉協議会の願いでもある「助け合い・支え合い」の基本的な考え方を町民一人ひとりが理解し行動した時

### ◇第二条には、生きがいがづくり・ボランティア等各団体活動の推進

- ・具体的には、あんしんサポートセンター等の地味な実践を通して地域の小さな困りごとにも力を入れ「住んでいてよかった街づくり」に取り組んだ時

### ◇第三条には、地域に根づいた組織作りの推進

- ・具体的には、各組織が連携しあって行動した時

令和の時代は特に、町民一人ひとりの「身の丈の支援」と国どうしの「助け合い・支え合い」が大切とされています。

現実の社会をしっかりと見据え、若者の考え方も取り入れ、令和の時代を考え行動する社会福祉協議会にしたいと思えます。

令和の時代は、あらゆることの見直しの時代と言われています。その時の留意点は、(流行)時代とともに変わらなければならないこと(血縁家族から地域家族等)、(不易)時代が変わろうとも変わってはいけないこと(社会福祉協議会の願い等)を考え直すことが大切と考えています。

これからも、町民と連携しながら事業を進めていきますので、ご指導ご助言よろしくお願ひ申し上げます。

町民一人ひとりと協力しながら、「住みよい街づくり」に努めます。



### ✔ 標津町社会福祉協議会の願い

ひとは、いかなる世(家庭、社会等)でも、一人では生きていけない。そのために「助け合い・支え合い」が必要である。「助け合い・支え合い」には「助ける人・支える人」と「助けられる人・支えられる人」で成り立ち、「自惚(うぬぼれ)」も「卑屈(ひくつ)」もない人間関係であり、同時に「身の丈の支援」を共通認識し、「お互いさま」「ありがとう」が原点である。



皆様の会費により、標津町社会福祉協議会は運営され、  
様々な福祉事業に活用されています。



「標津町社協だより」は赤い羽根共同募金の一部助成を受けて発行しています。

標津町社会福祉協議会については

82-1212 まで





第50回

# 標津町高齢者軽スポーツ大会 終了しました!

去る7月25日(火)、標津町総合体育館において、第50回標津町高齢者軽スポーツ大会が高齢者の参加者86名、来賓を含むスタッフ関係者36名と、合計で122名の参加のもと開催されました。



今大会は、記念すべき節目の大会ということもあってか、従来の形である9老人クラブを赤・青・白・黄の4色チームに分け、それに一般参加者のピンク色を加え、5チーム対抗の大会となりました。前半5種目、後半3種目と全部で8種目に渡り、熱戦が繰り広げられました。

結果は、同点で、しかも1位(4種目)、2位(3種目)、3位(1種目)の数までが同じ、白チーム(北標津憩の会・茶志骨すずらん会)と黄チーム(川北しらかば会)が優勝しました。そこで、最終的にはジャンケンで1位、2位を決めることにしました。その結果、川北しらかば会が見事優勝となりました。

大会を通じ、参加者全員、熱中症始め怪我や体調を崩した方もいなく、皆さん笑顔と共に最後まで真剣に元気よく取り組んでいたことが、主催者としても大変うれしく思いました。

参加された皆さん、本当にお疲れさまでした。また、運営・進行等でご協力いただいたスタッフの皆さん、誠にありがとうございました。

令和  
5年度

## 標津町社会福祉協議会会長杯

# 高齢者パークゴルフ大会のご案内

申込締切

令和5年  
9月13日(水)

目的: 社会福祉協議会では、赤い羽根共同募金の一部助成を受け、65歳以上の方々を対象に。健康増進と同世代交流、生きがいづくりを目的として高齢者パークゴルフを開催いたします。65歳以上の町民であればどなたでも参加できますので、奮ってご参加下さい。

◆日時: 令和5年9月20日(水) ◆会場: 川北パークゴルフ場

▶参加対象: 町内に居住する65歳以上の高齢者(昭和33年9月20日以前に生まれた方)

▶参加料: 200円 保険料ほか(昼食はありませんが、工夫した景品に乞うご期待!)

▶申込方法: お電話にて、社協までお申し込み下さい。

川北、標津のパークゴルフ場にありますが参加申込書にご記入いただいても構いません。

※ご不明な点、お問い合わせにつきましては、社協(82-1212)までご連絡下さい。



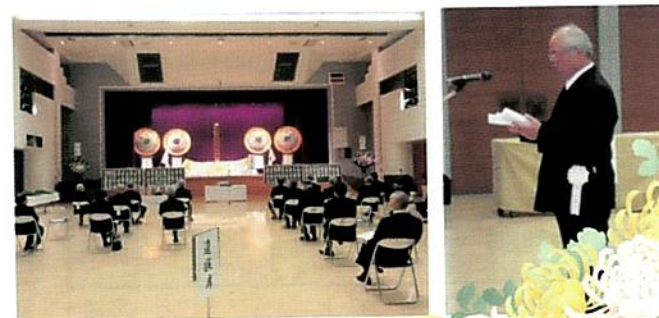


遺族会

# 8月8日 追悼式

文化ホールにおきまして、町主催によります「追悼式」が執り行われ、戦没、殉職された方々のご冥福をお祈りいたしました。本年は戦後78年目となります。

その後、会場を同ホールの和室に移し、標津町遺族会の「総会」を開催しました。総会では、令和4年度の事業・決算・監査報告始め、令和5年度の事業・予算(案)、静霊殿・霊霊について審議され、併せて役員改選期に伴い、令和5年度から2年間の役員についても決定したところです。



標津町

## 共同募金委員会 からのお願い

赤い羽根共同募金寄付金付きグッズ(ご当地ピンバッジ)に取り組んで4年目。また、ピンバッジデザインを募集してから3年目となりました。このピンバッジにつきましては、「社協豆だより」7月号において、ご紹介させていただきましたが、ここで改めてPRさせていただきます。

### 2023年度版 ご当地ピンバッジ

標津町限定



じまの町と共につくすしみ。  
赤い羽根共同募金

今年度のデザインは、しいく ぎんが  
標津中学校3年生 **椎久 銀河** さんが考えたものです。

500円以上の寄付に対してバッジ1個と交換となります。バッジは社協及びサーモンパークに用意しております。

一人でも多くの  
町民の皆様の募金を、  
是非、宜しくお願い致します。

## 献血にご協力をお願いします

令和5年度 第2回 移動献血車「ひまわり号」による献血予定日

日時 **10月25日(水曜日)** 9:00~16:00

町民の皆様には、日頃より献血推進事業に対しまして、ご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。さて、令和5年度の第1回目の献血が、去る6月28日(水)と29日(木)の2日間に亘って、7か所において実施されましたが、2日間合わせて68名(内訳 200ml~3名、400ml~65名)の方の協力がありました。この場をお借りし、厚くお礼申し上げます。

さて、諸般の事情により移動献血車の運行回数が令和4年度より年間で4回となります。従って、例年、6月と10月は2回の運行となっておりましたが、10月は上記にありますように、1回の運行となります。今までも増してご理解・ご協力を宜しくお願い致します。なお、今年度の400ml献血者の期待人数は、180名となっております。

詳細は、後日、広報折り込みチラシにてお知らせいたします。

令和4年度

＊標津町社会福祉協議会 決算報告＊

	科 目	決算額		科 目	決算額
収 入	会費収入	397,201	支 出	人件費支出	11,163,451
	寄付金収入	1,400,668		事務費支出	1,256,221
	経常経費補助金収入	12,462,041		事業費支出	2,559,734
	受託金収入	412,755		貸付事業支出	110,000
	貸付事業収入	114,000		助成金支出	180,000
	負担金収入	19,400		負担金支出	198,000
	受取利息配当金収入	159			
	その他の収入	91,497			
	事業活動収入計①	14,897,721		事業活動支出計②	15,467,406
事業活動資金収支差額③＝①－②					△ 569,685
収 入	施設整備等収入④	0	支 出	施設整備等支出⑤	0
施設整備等資金収支差額⑥＝④－⑤					0
収 入	その他の活動収入⑦ (積立金取崩し)	0	支 出	その他の活動支出⑧ (積立金利息)	104
その他の活動資金収支差額⑨＝⑦－⑧					△ 104
予備費支出⑩					0
当期資金収支差額合計⑪＝③＋⑥＋⑨－⑩					△ 569,789
前期末支払資金残高 ⑫					2,177,120
当期末支払資金残高 ⑪＋⑫					1,607,331

発行 標津町社会福祉協議会

標津町北1条西5丁目6番1-2号保健福祉センターひまわり内

\*電 話 0153-82-1212 \*FAX 0153-82-1530

\*メ-ル～syakyou@shibetsutown.jp